

くさか 孔舎衛校区 自治連合会だより

No.7
平成28年8月1日

発行：孔舎衛校区自治連合会
事務局：孔舎衛公民分館内
住所：東大阪市日下町5-3-37
電話：072-985-8791



武家火消出場風景
(江戸時代)



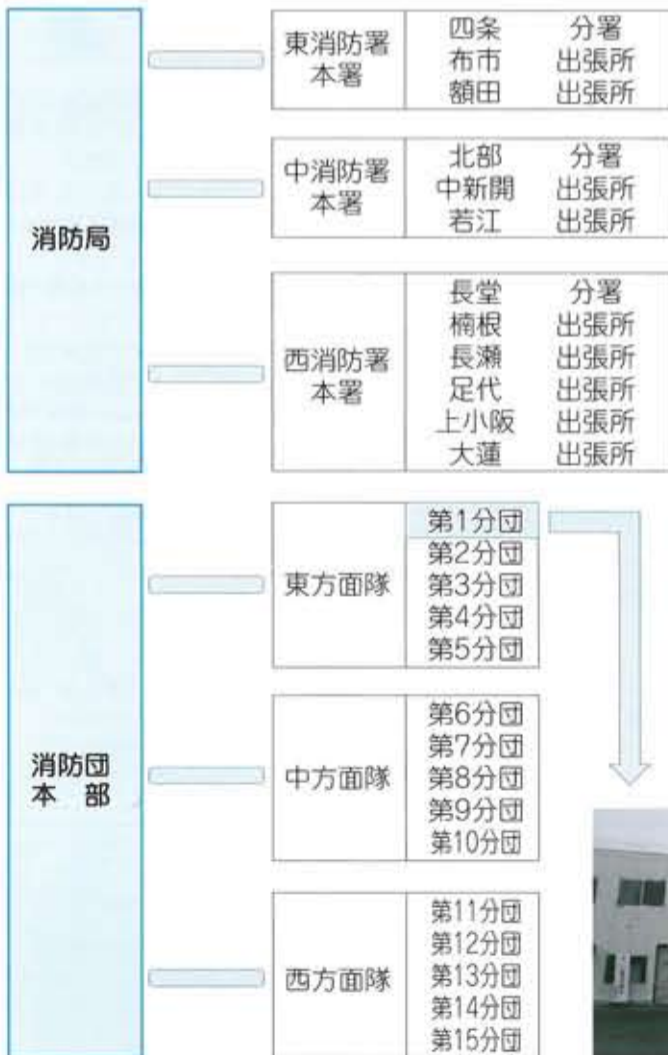
関東大震災（大正12年9月1日）



東大阪市東消防署布市出張所（平成25年11月15日開設）



孔舎衛校区自治連合会
連合会長
酒井 秀和



太陽がまぶしい季節となりました。孔舎衛校区（日下町、池之端町、善根寺町、布市町、元町）にお住いの皆様には大過なくお過ごしのこととお慶び上げます。

さて、いつも昼夜を問わず地域の安全と安心を守っていただいている両輪とも言える組織に「警察」と「消防」があります。本当にご苦労さまです。第6号では警察、今回第7号では消防について書かせていただきます。

消防の歴史は江戸時代・・・「火事と喧嘩は江戸の華」といわれるほど火事が頻繁に発生し、それを消火するための組織として武家火消と町火消がつくられたのが元祖とされています。武家火消は武家を守るのが重点で一般の町家のためには不十分の消火隊でした。そこで武家火消から遅れること約70年、享保3年（1718年）8代將軍徳川吉宗は南町奉行大岡越前守忠相と協議し「町火消」を編成させたのが始まりです。

横道にそれますが、將軍に直訴できる「目安箱」という制度ができたのはこの頃享保6年（1721年）で大阪はそれから6年後の享保12年ということ。目安箱を設置することによって防火に対する貴重な意見が寄せられ、將軍吉宗はこれらの意見を参考にして町づくりに取り入れたようです。15人の將軍の中でトップクラスの英明な將軍と

いわれたのもこう言うところにあるのではないのでしょうか。

私たちの住む町東大阪市では明治3年に「消防組」が発足し、85年後の昭和30年町村合併促進法の施行に伴い枚岡町、縄手町、石切町、孔舎衛村が合併し枚岡市消防団が発足しました。そして昭和42年枚岡市、河内市、布施市の三市合併により東大阪市消防本部が発足し旧枚岡市消防署を東消防署に、旧河内市消防署を中消防署に、旧布施市消防署を西消防署に改め、同じく旧市消防団を東消防団、中消防団、西消防団に改称し、昭和46年3消防団を統合し東大阪市消防団となりました。この消防団の皆さんは自分たちの住む地域のためにボランティアで尽力していただいております。孔舎衛校区の消防団は左下のように東方面隊第1分団として1号車は善根寺町、2号車は日下町・池之端町、3号車は布市町・元町を出動区域として活躍していただいております。又、夏及び年末には夜遅く迄夜警もして頂き感謝でいっぱいです。本当に有難うございます。

終わりにになりましたが、孔舎衛校区の皆様のご健康ご多幸を祈念し、「孔舎衛校区自治連合会だより第7号」の協賛いただきました各自治会、各種団体、各企業の皆様に衷心より感謝申し上げ私の言葉といたします。



第1号車・善根寺町2-6-5



第2号車・日下町8-1-7



第3号車・布市町2-5-37

【出動区域】———【善根寺町】———【日下町・池之端町】———【布市町・元町】